

ここが聞きたい!!

7名が登壇

不妊治療に町独自の補助を望む！ 雑木・竹林の被害対策は！

松井 岑雄 議員

問 本町にも子宝に恵まれず、不妊治療に通う方々がいる。不妊治療には時間も経費もかかり、精神的にも大変苦労されている。国庫補助だけでなく、町独自の追加補助が、どうにか出来ないか。



答 (町長) 不妊治療には、一般不妊治療費助成制度と特定不妊治療費助成制度があるが、特定不妊治療制度は、体外受精等を対象としているため一回の平均負担額は約39万円と高額。少子化の本町としては、本当に欲しくても子供ができない夫婦のため十

分検討していきたい。

問 開作松ヶ崎地区の雑木・竹林の被害対策は？

答 (町長) 昭和57年に県事業で急傾斜地崩壊対策事業として実施されたが、擁壁裏の雑木、竹林が大木化し民家に被害を与えている。用地内にある支障となる雑木、竹林の処理予算を要望していく。

問 開作水車地区急傾斜地の早急な対応を。

答 (町長) 地元関係者の対策工事に対する同意が得られれば、事業化の可能性について検討したい。

問 開作、水車周辺の護岸は痛みがひどく改修工事が急がれるが。

答 (町長) 被害が予想される箇所は、地盤の調査、護岸の工法を検討し、計画的に対応していきたい。

町政転流 (15) 貧困率って？

年の瀬になって「貧困率」という言葉を耳にした。昔からある言葉であったそうだが、大して問題にならなかったから気にもとめなかったのかもしれない。

TVによると児童の貧困率が約15%。実に7人に1人が貧困、つまりいつも空腹の状態。朝ご飯ぬき、昼は給食、夕飯もぬき。そんな生活が続いているという。親は両親とも仕事があつたりなかったり、生活が全く安定していない。

私は昭和33年に生まれ、戦後復興から高度成長へ、日本がおそらく一番元気のいい時代に育ち、今日の繁栄を体験した訳である。

昨年、今年と二年続けての不況と、デフ

レスパイラルの中で、9月に自民党から民主党へと政権が交代した。本文を書くにあたり、前々日、小沢民主党幹事長から鳩山首相へ「子供手当の所得制限設定の要望」と「暫定税率存続」の申し入れがなされ、今朝のニュースでは首相は「子供手当」の所得制限は、社会全体で子供を育てるという観点から設定しない。「ガソリンの暫定税率という言葉はなくすが、新たな税を設定して今の税率を維持して行く事」を決めたい。

広報が発行される時はどうなっている事やら...何はともあれ子供が飢えて困っている町にだけはしたくない。(平野)